

社会福祉法人向陽学園 事業内容等

理念

子どもたちと、その家族をともに支え「安心」と「安全」の暮らしを基に困難を克服し「生きがい」と「感動」をつくる。

子どもたちの権利擁護を第一義として、子どもたちの健やかな育ちと発達保障を行ううえで、子どもの最善の利益に努める。

子どもたちひとりひとりの有する能力に応じて自信、自律、自立の心づくりに向けて、温かい愛情で接し、豊かな生活と充実した人生を実感できるよう尊ぶ。

多くの人々から支えられていることに感謝して誠実な働きを通して、信頼を得られるよう努力を重ね、地域づくり、社会に貢献する。

児童福祉、障害福祉のプロフェッショナルとしての自覚を持ち「思いやり」「いたわり」「人の痛みを感じること」親身になって相手の立場を感じていく「心」の原点に立ち、福祉の本質を追求し専門的役割を研鑽して自らを高めていく精進に徹する。

向陽学園とは

向陽学園は、昭和12年（1937年）に創立し、現在、知的障害児福祉に関わる以下の事業を展開しています。

■（福祉型）障害児入所施設「向陽学園」（定員55名）

子ども家庭センター（児童相談所）を通じて、さまざまな事情により家庭での療育が困難となった子どもたちが、ともに生活する場所です。保育士・児童指導員・心理士・看護師・栄養士などが連携し、子どもたちの自立を支援しています。

施設案内

〔施設概要〕

土地（法人所有地）	2,532.75 m ²
建物（向陽学園）	鉄筋コンクリート造。耐火構造 3階建。延床面積 1,797.27 m ² 。
居室（向陽学園）	1人部屋：3室。2人部屋：18室。4人部屋：4室。計25室。

〔建物外観〕

